

東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年5月 東白杵農林振興局
(東白杵南部農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2～3)
- 1 【諸塚村】 農業経営指導士に感謝状を贈呈
 - 2 【県全域】 宮崎県農業経営指導士委嘱式及び研修会が開催
 - 3 【日向市】 令和7年度日向市認定農業者連絡協議会総会が開催
 - 4 【県全域】 宮崎県SAP会議連合代表者会議で日向地域から役員1名選出
 - 5 【全域】 5月期子牛セリ市の開催
 - 6 【美郷町】 お茶摘み体験を支援
 - 7 【美郷町】 和牛改良組合総会の開催
 - 8 【椎葉村】 椎葉村むらおこしグループ連絡協議会総会が開催
- II 主な普及指導活動等の取組
- 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 4～6)
- [総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]
[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミニトマト、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]
- 1 【美郷町】 就農検討会の実施
 - 2 【日向市】 農福連携現地検討会の開催
 - 3 【美郷町・日向市・諸塚村】 美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施
 - 4 【門川町】 門川町果樹園芸組合通常総会が開催
 - 5 【日向市・門川町】 へべすの病害虫の発生状況に応じた管理技術を指導
 - 6 【門川町】 門川町果樹園芸組合による温州みかん、へべす等の開花状況確認
 - 7 【日向市】 JAみやざき日向地区本部平兵衛酢部会通常総会が開催
 - 8 【日向市・門川町・美郷町】 冬春ミニトマト役員支部長会で展示ほの状況を報告
 - 9 【日向市・門川町・美郷町】 冬春ミニトマトの令和8年産作付け計画を検討
 - 10 【美郷町】 暖房機のメンテナンスについて指導
 - 11 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】 JAみやざき日向地区本部スイートピー部会総会が開催
- 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 7～8)
- 1 【全域】 早期水稻生育調査を実施
 - 2 【美郷町】 牧草品種選定の調査を実施
 - 3 【日向市・諸塚村・美郷町】 JAみやざき日向地区本部ほおずき部会総会が開催
 - 4 【日向市・門川町】 促成きゅうりの令和8年産作付け計画を検討
 - 5 【諸塚村】 諸塚村園芸部会総会が開催
 - 6 【日向市・門川町】 促成きゅうりの遮光、かん水管理を指導
 - 7 【美郷町】 美郷町シキミ部会総会が開催
 - 8 【椎葉村・美郷町】 ミニトマトの篤農家視察を開催
 - 9 【椎葉村】 令和6年度 椎葉村園芸部会定例総会が開催



東白杵南部農業改良普及センター
ホームページ

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【諸塚村】 農業経営指導士に感謝状を贈呈

8日、農業経営指導士を退任される藤本靖子氏(3期9年)に、任期終了に伴う感謝状の贈呈を行いました。

任期期間中は、日向・東臼杵農山村女性会議における助言指導や、地域農業の発展、特に、ラナンキュラスの球根冷蔵管理、ほ場準備について、新規就農者への助言・指導に御尽力いただきました。

今後とも、普及活動への御協力を賜りますようお願い申し上げます。



【感謝状贈呈】

2 【県全域】 宮崎県農業経営指導士委嘱式及び研修会が開催

26日、県庁講堂で宮崎県農業経営指導士委嘱式及び研修会が行われました。東臼杵南部支部からは、横井香織氏が代表して知事から委嘱状を受け取りました。

委嘱式の後には、研修会として農業経営指導士の役割や、担い手の育成・確保についての情報提供のほか、各地域での活動に関する情報交換が行われ、大変有意義な時間となりました。

地域農業の発展のために、普及活動への御協力を賜りますようお願い申し上げます。



【宮崎県農業経営指導士委嘱式】

3 【日向市】 令和7年度日向市認定農業者連絡協議会総会が開催

28日、日向市役所で、関係者を含め約30名が参加し、令和7年度日向市認定農業者連絡協議会総会が開催されました。

総会では、役員数の削減に係る規約改正の協議や、役員改選による令和7年度の新体制が決定し、全ての議案について承認されました。

今後とも関係者と連携して、認定農業者を中心とした担い手の育成支援に努めていきます。



【日向市認定農業者連絡協議会
総会】

4 【県全域】 宮崎県SAP会議連合代表者会議で日向地域から役員1名選出

1日、県庁講堂で、令和7年度宮崎県SAP会議連合代表者会議が開催され、会員及び関係者52名(うち日向地域からは1名)が出席しました。

会では、令和6年度活動実績や、令和7年度活動計画(案)が協議、承認されました。また、役員改正では、日向地域のSAP会員1名が引き続き役員に選出されました。

農業経営指導士会長からの激励のことばでは、「エネルギーな移住者会員の増加や提案型プロジェクトの始まり等、新たなSAPの形を感じる」と励ましがりました。また、新役員からは「古い部分を壊し、新たなSAPの形作りをしたい」との意気込みが聞かれ、SAPの進化が感じられる会議となりました。

今後とも、SAPの活動が、地域や会員にとってより良い取組になるよう支援を続けていきます。



【県SAP総会新役員あいさつ】

5 【全域】5月期子牛セリ市の開催

19～20日、東臼杵市場で5月期子牛セリ市が開催され、雌277頭、去勢262頭、合計539頭（管内：雌185頭、去勢180頭、合計365頭）が取引されました。

平均価格は雌622,894円、去勢686,383円、合計653,755円（管内：雌631,733円、去勢679,635円、合計655,356円）で、前回セリと比べて雌で8,392円安、去勢で41,694円安、合計で27,898円安となりましたが、前回に引き続き60万円台を維持しました。

また、今回のセリ前研修会では、振興局から令和7年度の補助事業の説明があり、相談ブースには生産者が補助事業の活用について質問に訪れる等、関心が高い様子がみられました。



【5月期子牛セリ市】

6 【美郷町】お茶摘み体験を支援

11日、美郷町西郷で関係者7名を含む45名が参加し、JA日向地区本部主催のわくわくあぐりスクールが開催されました。

このスクールは、子ども達に「命・農業・自然・食べ物・健康」の大切さを伝え、子ども達を通じて保護者にも農業への関心を持ってもらうことを目的に、毎年開催されています。その中で今回は初めてお茶摘み体験を行いました。

JA担当者が茶の現状を説明した後、普及センターが、お茶の摘み方や注意点についての説明を行いました。

子ども達は保護者と共に上手にお茶を摘んでおり、茶摘みをしたことでお茶を入れて飲んでみたいという声が聞こえる等、活気にあふれたスクールでした。



【お茶摘み体験】

7 【美郷町】和牛改良組合総会の開催

16日、JA西郷支店で生産者26名が出席し、美郷町和牛改良組合総会が開催され、活動内容や収支の実績・計画の協議が行われ、全て承認されました。また、セリ市や品評会時の牛の運搬についての協議が行われました。

さらに、東臼杵家畜市場運営部よりセリ市場の動向や令和8年以降のセリ開催の方向性について生産者に説明がありました。



【美郷町和牛改良組合総会】

8 【椎葉村】椎葉村むらおこしグループ連絡協議会総会が開催

26日、椎葉村役場で令和6年度の椎葉村むらおこしグループ連絡協議会総会が開催され、会員11名と関係機関11名が出席しました。

椎葉村には9つの農産加工グループがあり、それぞれが山菜や梅や椎茸などの地域の特産物を活かした商品の製造販売に取り組んでいます。

椎葉村むらおこしグループ連絡協議会は、この9グループが連携し、会員相互の交流を深め意識向上を図ることを目的に活動しています。

会では、実績・計画が協議・承認され、役員改選が行われました。総会後の研修会では、「西米良の柚子とともに」と題して有限会社米良食品の代表取締役社長を講師に、講演が行われました。

今年も「椎葉うめえものコンテスト」や平家まつりへの出店等、多くの活動が計画されており、地域の活性化が期待されます。



【柚子の取組みに興味津々】

II 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]

[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミニトマト、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイトピー 等]

1 【美郷町】就農検討会の実施

13日、普及センターで、就農希望者1名と関係者6名が参加し、就農検討会が実施されました。

会では、普及センターから就農候補園地で見込まれる収支について説明、美郷町から就農候補園地や今後承継が見込まれる園地に関する情報提供を行い、対象者の研修及び就農の進め方について協議しました。

今後、情報提供や収支計画作成支援を行い、対象者の就農に向けた支援を行っていきます。

2 【日向市】農福連携現地検討会の開催

20日、日向市内のミニトマトハウスで、ミニトマト生産者、就労継続支援B型事業所2社、県農福連携推進センター、日向市、普及センターの関係者計9名が出席し、ミニトマトの栽培管理に関する農福連携現地検討会が開催されました。

まず、生産者からB型事業所へ依頼したい作業内容（定期的なハウス内床掃除と栽培終了後の残渣処理）の説明を受けた後、具体的な作業内容等を確認しました。

今後は、B型事業所の利用者の作業体験会等を行った上で、実際のマッチングにつながるよう関係者で連携を図り支援を行います。



【農福連携現地検討会】

3 【美郷町・日向市・諸塚村】美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施

26日と30日に、関係者4名が参加し、部会員全戸の個別巡回を行いました。このうち、生産者15名に対しては園地の状況をみながら、これまでの管理状況を聞き取り、今後の管理について説明を行いました。

今年は剪定の遅れなどに伴い、一部の園地で新梢発生・伸長・緑化にばらつきが見られていたので、窒素等の葉面散布を提案しました。生育が早いところでは、新梢の硬化が進んでおり、順調に生育している状況がみられました。



【美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回】

4 【門川町】門川町果樹園芸組合通常総会が開催

8日、JA門川支店で生産者10名、関係者9名が出席し、門川町果樹園芸組合通常総会が開催されました。当組合は、へべす、温州みかん、日向夏等、果樹栽培に取り組んでいる農業者で構成されています。

会では、活動内容や収支について実績の協議が行われ、今年度、組合として活動する計画について協議がなされました。

普及センターからは、今年の気象傾向、熱中症対策、生育や病虫害発生状況に応じた適期防除の徹底等を指導しました。



【門川町果樹園芸組合通常総会】

5 【日向市・門川町】へべすの病害虫の発生状況に応じた管理技術を指導

1日に、日向市財光寺、日知屋、12日に東郷、富高の露地へべす園地4ヵ所で、生産者延べ46名、関係者2名が参加し、JAみやざき日向地区本部平兵衛酢部会の支部別講習会が開催されました。

講習会では、JAから開花期・生理落果から果実肥大期の時期的管理に関する説明が行われました。

普及センターからは、今年の実気象条件や病害虫の発生状況に合わせた管理、熱中症対策等について、資料に基づき説明を行いました。

また、参加した部会のアドバイザーからも、篤農家の視点で他の生産者に対する助言が行われました。

今年は園地により着花にばらつきがみられますが、全体的には着花が多い傾向となっています。



【露地へべす支部別講習会】

6 【門川町】門川町果樹園芸組合による温州みかん、へべす等の開花状況確認

8日、門川町果樹園芸組合の農業者約10名、関係者3名が参加し、門川町内の温州みかん、露地へべす等の園地で開花・生育状況確認を行いました。

温州みかん、へべす園地の開花・生育状況や栽培面の改善点等について、生産者同士で活発な意見交換が行われました。普及センターからも園地状況に応じ、助言指導を行いました。

品質や収量の向上につながる栽培管理作業の重要性を共有できたことで、今後の適期防除・適期管理の実施による良品質果実の生産が期待されます。



【露地へべすの開花・生育状況確認】

7 【日向市】JAみやざき日向地区本部平兵衛酢部会通常総会が開催

15日、JA日向地区本部で生産者36名、関係者10名が出席し、JAみやざき日向地区本部平兵衛酢部会通常総会が開催されました。

活動内容や収支について実績・計画の協議が行われたほか、産地戦略ビジョンで位置づけた今年度の取組内容等について協議がなされ、生産者からも活発な意見が出されました。

普及センターからは、今年の実気象傾向、熱中症対策、生育や病害虫発生状況に応じた適期防除の徹底等を説明しました。



【平兵衛酢部会通常総会】

8 【日向市・門川町・美郷町】冬春ミニトマト役員支部長会で展示ほの状況を報告

1日、JA日向営農センターで生産者5名、関係者6名が出席し、JAみやざき日向地区本部冬春ミニトマト役員支部長会が開催されました。

会では、現在の出荷実績、各支部の栽培状況が共有がされたほか、営農振興協議会の展示ほで実施している品種比較試験の状況について普及センターから報告しました。

また、試験品種を実際に栽培されている支部長からは、「慣行品種と比べて枝がしなやかなので、丁寧に作業をした方が良い」との意見がありました。

令和7年産の栽培期間も残りわずかとなりましたが、最後まで品質を維持した出荷ができるよう支援していきます。

9 【日向市・門川町・美郷町】冬春ミニトマトの令和8年産作付け計画を検討

7～9日の3日間、JA営農指導員とともに、日向市、門川町のJA各支店、美郷町では現地巡回で、生産者27名と個別面談を行いました。

面談では、今期作の出荷実績や栽培管理の振り返りを行い、次作の作付け品種や定植時期を検討しました。生産者からは、年内の天候不順、日照不足による出荷量減少、また青枯病や葉かび病、コナジラミ類等の病害虫の発生についての反省が聞かれました。

令和8年産は8月から定植が始まる予定です。引き続き、高温対策や病害虫の適期防除指導により、出荷量向上に向けた支援をしていきます。

10 【美郷町】暖房機のメンテナンスについて指導

27日、JA西郷支店で生産者6名、関係者4名が出席し、美郷町冬春ミニトマト定例会が開催されました。はじめに、JAから販売実績の報告と来作について定植本数や定植予定日等の確認、各生産者の状況報告を行いました。

普及センターからはハウス加温機の手入れについて、清掃やノズル交換の時期等、資料を用いて説明を行いました。

生産者からは、来作に向けてハウスを閉め切ることによって害虫を死滅させるとともに、定植前の害虫対策を徹底しようとの声が上がりました。



【美郷町冬春ミニトマト定例会】

11 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】JAみやざき日向地区本部スイートピー部会総会が開催

23日、JA日向地区本部で生産者7名、関係者11名が参加し、定期総会が開催されました。

令和6年度の活動実績と収支決算報告や令和7年度の計画が協議され、役員改選が行われました。普及センターからは産地戦略ビジョンについて説明を行い、承認されました。今年も目標達成に向けた取組内容が実施されるように関係者で支援していきます。

品種選定や施肥設計については、生産者と関係者で6月に個人面談を実施し、来作へ向けた協議を行っていきます。



【スイートピー部会総会】

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【全域】早期水稲生育調査を実施

26日、営農振興協議会作物部会員9名で日向市及び門川町に設置している奨励品種決定試験ほ場と定点ほ場の生育調査を行いました。

今年は、田植え直後の寒さや水不足によって葉先の枯れなどの症状が見られ、生育不良が心配されましたが、その後の降雨や暖かさによって回復し、目立った病害もなく、生育も概ね順調に進んでいます。

調査結果は今後の講習会や栽培管理指導に活用していきます。



【水稲生育調査】

2 【美郷町】牧草品種選定の調査を実施

14日、美郷町西郷に設置しているイタリアンライグラス奨励品種選定試験展示ほ場で2番草の収量調査を実施しました。

この試験では、3品種を供試し11月に播種し、1番草を4月下旬に収穫しています。今回の調査では、1番草と同様に「うし想い」の収量が最も多く、次いで「いなずまGT」、「タチユウカ」の順となりました。

今後は、栄養成分分析を実施して総合評価をまとめ、研修会等で農家に試験結果を周知し、管内の自給飼料収量の向上を図っていきます。



【イタリアンライグラス展示ほ】

3 【日向市・諸塚村・美郷町】JAみやざき日向地区本部ほおずき部会総会が開催

20日、JA西郷支店で生産者14名、関係者9名が参加し、通常総会が開催されました。

会では、活動内容や収支について実績・計画の協議が行われ、今年度、部会として取り組む「病虫害対策の徹底」や「品質向上」に加え、産地戦略ビジョン達成に向けた活動について活発な意見交換がされました。

普及センターからは、熱中症の注意喚起とともに労働者の雇用主に対して6月1日から熱中症対策が義務化されることや、農業者研修の開催等について情報提供を行いました。



【ほおずき部会総会】

4 【日向市・門川町】促成きゅうりの令和8年産作付け計画を検討

1、2日にJA東郷支店とJA美々津支店で、生産者10名、関係者2名が参加し、令和8年産の促成きゅうりの作付け品種の決定と目標設定を行いました。

生産者は自身のほ場の特徴や栽培方法に応じ品種を選定するとともに、今作を振り返り、病虫害対策やかん水管理、温度のコントロール等の来作に向けた目標を決定しました。

今作は、定植直後の曇天など、栽培環境への順応が難しい年となりました。今後とも、各個人の目標達成と、部会全体の収量向上を支援していきます。

5 【諸塚村】諸塚村園芸部会総会が開催

13日、JA諸塚支店で、生産者13名、関係者8名が出席し、令和6年度諸塚村園芸部会総会が開催されました。

会では、議事の協議・承認とともに、JAからドローンによる遮光資材塗布計画、販売実績の報告がありました。

特に、ドローンの活用について生産者から活発な意見がありました。

普及センターからは農作業事故の注意喚起を行いました。



【諸塚村園芸部会総会】

6 【日向市・門川町】促成きゅうりの遮光、かん水管理を指導

20日、日向市、門川町のきゅうり生産者8名、関係者4名が参加し、きゅうり巡回指導を行いました。

5月に入り促成きゅうりの収穫も終盤となってきました。気温上昇や日照量の増加に伴い、晴天日の高温乾燥対策が一層重要になっており、ハウス谷部や妻面の開放、2重カーテンの利用による遮光、かん水回数の増加を促しました。

多くの生産者が6月中に摘芯を行い収穫が終わる予定です。作終了後には、生産実績の振り返りを行い現状と課題の把握を行うとともに、課題解決による収量向上を支援していきます。



【きゅうり巡回】

7 【美郷町】美郷町シキミ部会総会が開催

8日、JA西郷支店で、生産者25名、関係者11名が出席し、美郷町シキミ部会総会が開催されました。

会では、令和6年度の活動実績や令和7年度の計画、役員改選等の協議が行われました。今年度も各支部の目揃え会や研修会が定期的開催される計画となっており、苗木の確保や立枯症に対する意見等、地域の課題について活発な意見交換が行われました。

普及センターからは、立枯症対策について、発生要因の説明と、チェックシートの活用を促しました。



【美郷町シキミ部会総会】

8 【椎葉村・美郷町】ミニトマトの篤農家視察を開催

7日、椎葉村の夏秋ミニトマト生産者5名と関係者3名が参加し、美郷町西郷の冬春ミニトマトの視察を行いました。

視察先は、冬春ミニトマトの田村氏のほ場で、地元の生産者や関係者も参加する中、高温対策に有効な資材の紹介や、作業遅れにならないブロック管理の方法を詳しく説明していただきました。

冬春と夏秋の生産者が互いに意見交換を行うことで、作型は違えど共通する栽培上の課題検討が深まり、ミニトマトの産地力向上が図られたよい機会となりました。



【ミニトマトのブロック管理を学習】

9 【椎葉村】令和6年度 椎葉村園芸部会定例総会が開催

20日、椎葉村開発センターで令和6年度 椎葉村園芸部会の定例総会が開催され、生産者24名、関係者20名が参加しました。

令和6年度は猛暑の影響を強く受け、いずれの品目も栽培管理が難しい年となりましたが、夏秋ミニトマトの面積増で販売額が伸びたことから、園芸部会全体の販売額は、前年比101%の1億6千万円でした。次年度は、販売額1億8千万円を目標に、各品目共に活発な活動を実施していくことになりました。総会では、優秀農家表彰や市場情勢報告等が行われ、総会後には初の試みとなるフラワーアレンジメント教室が開催され、生産者間の交流が活発に行われました。



【椎葉村園芸部会総会】